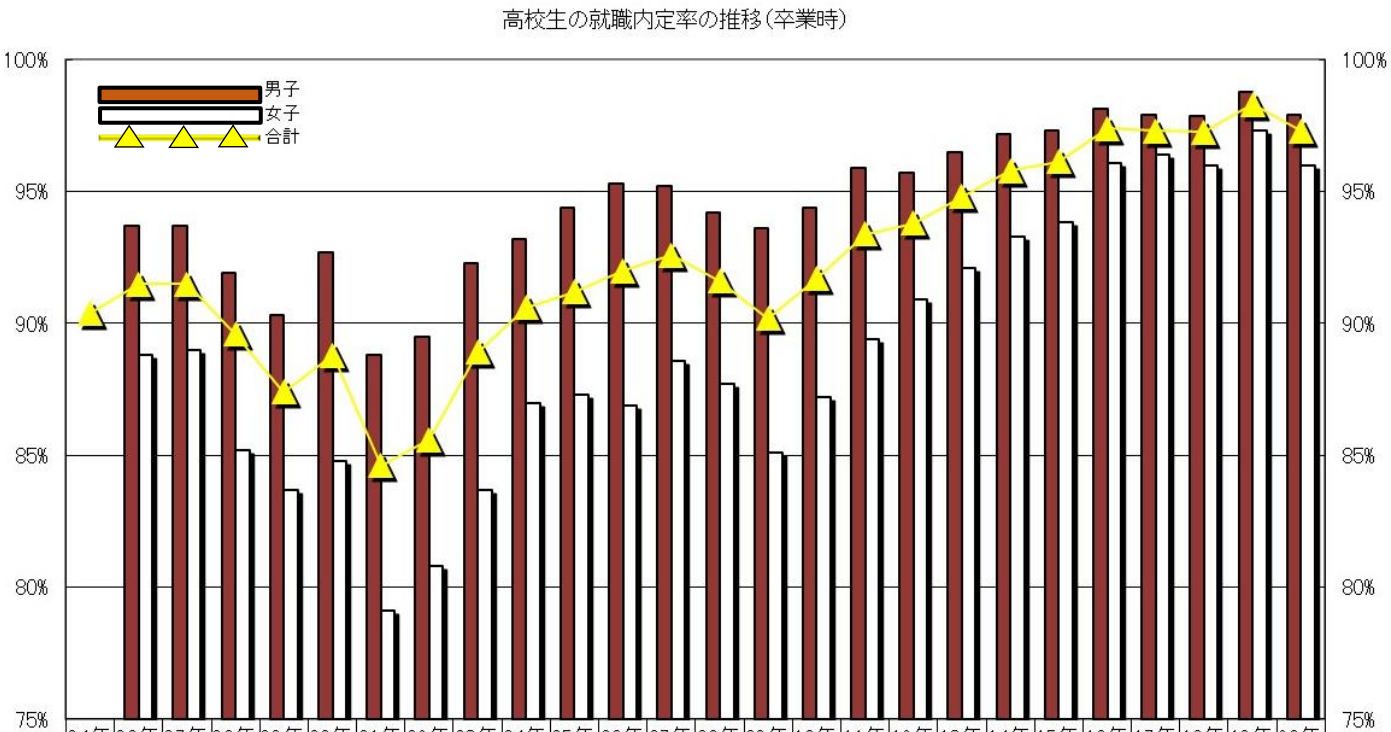
２０２０年度　高校生の就職内定実態調査（卒業時）調査結果

2021 年 6 月 30 日
全日本教職員組合（全教）
全国私立学校教職員組合連合（全国私教連）

1．就職内定率の推移



	94年度	96年度	97年度	98年度	99年度	00年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
男子		93.7	93.7	91.9	90.3	92.7	88.8	89.5	92.3	93.2	94.4	95.3	95.2	94.2	93.6	94.4	95.9	95.7	96.5	97.2	97.3	98.2	97.9	97.9	98.8	97.9
女子		88.8	89.0	85.2	83.7	84.8	79.1	80.8	83.7	87.0	87.3	86.9	88.6	87.7	85.1	87.2	89.4	90.9	92.1	93.3	93.8	96.1	96.4	96.0	97.3	96.0
全体	90.4	91.5	91.5	89.6	87.4	88.8	84.6	85.6	88.9	90.6	91.2	92.0	92.6	91.6	90.2	91.7	93.4	93.8	94.8	95.8	96.1	97.4	97.3	97.3	98.3	97.3

2．課程学科別の就職希望者・就職内定率

課程・学科別の学校数		就職希望者数（A）A=B+C			就職内定者数（B）			就職未内定者数（C）			卒業時就職内定率＝B/A		
		男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計
全日制普通科	180	1,652	1,268	2,920	1,582	1,192	2,774	70	76	146	95.8%	94.0%	95.0%
全日制専門科(職業科)	112	5,898	2,185	8,083	5,857	2,157	8,014	41	28	69	99.3%	98.7%	99.1%
定時制・通信制	54	402	261	663	356	222	578	46	39	85	88.6%	85.1%	87.2%
総合学科	43	923	732	1,655	893	699	1,592	30	33	63	96.7%	95.5%	96.2%
特別支援学校高等部	32	215	107	322	209	101	310	6	6	12	97.2%	94.4%	96.3%
合計	421	9,090	4,553	13,643	8,897	4,371	13,268	193	182	375	97.9%	96.0%	97.3%

3．課程学科別の不安定雇用率

課程・学科別の学校数		就職内定者中の不安定雇用の人数（F）			「不安定雇用」率＝F/B		
		男子	女子	合計	男子	女子	合計
全日制普通科	180	9	17	26	0.6%	1.4%	0.9%
全日制専門科(職業科)	112	6	6	12	0.1%	0.3%	0.1%
定時制・通信制	54	1	2	3	0.3%	0.9%	0.5%
総合学科	43	2	8	10	0.2%	1.1%	0.6%
特別支援学校高等部	32	81	42	123	38.8%	41.6%	39.7%
合計	421	99	75	174	1.1%	1.7%	1.3%

4．就職の状況と課題や実態（項目別の件数）

課程・学科別の学校数	2.②就職の状況と 課題や実態								課程数
	内定取消	求人取消	就職時期の変更	就職への進路変更	進学への進路変更	解禁日前の応募	求人・選考内容の変更	自衛隊の募集などの問題	
全日制普通科	2	50	2	47	79	2	12	0	180
全日制専門科(職業科	0	66	2	57	126	4	35	4	112
定時制・通信制	0	8	1	12	5	0	3	1	54
総合学科	1	21	0	29	38	0	4	3	43
特別支援学校高等部	0	0	0	1	4	0	0	0	32
合計	3	145	5	146	252	6	54	8	421

５．現場からの声

①求人の特徴

・建設増加、宿泊・飲食・サービス減少（新潟）
・サービス特に接客などが激減。(埼玉)
・県内求人は前年比 66 件（15%）減少した。減少の業種①サービス業②製造③販売。(富山)
・最終的には技術職、サービス系で求人が 2 割減少した。県外求人は技術職で減少、事務・販売で増加した。(岐阜)
・障害者雇用は不安定雇用、非正規雇用がほとんどである。今年度コロナの影響で雇用受け入れが難しい企業があった。(滋賀)
・製造・介護職の求人が多い。事務・販売職の求人が少ない。(兵庫)
・商品関係製造、調理、小売、販売、サービス業が減少。県外求人は約 2 割減少。(愛媛)
・前年度求人数 1500 人（今年度 7%減)、求人件数 1470 件（今年度 8%減)、建設業・サービス業の割合が多い。(佐賀)

②求人の取り消し、減少について

・コロナウイルスにより販売業で求人取り下げ。(青森)
・求人票を出していたが、取りやめることになった。(秋田)
・応募後にコロナ禍による業績不振で採用できないと連絡が来た。(宮城)
・コロナによる業績悪化により求人の取り下げがあった。(富山)
・先行き不透明のため、取り消しとのこと。(兵庫)
・校内選考終了後、求人の取り消しの連絡が 1 件あった。コロナの影響がその理由であった。(和歌山)
・コロナ禍の影響により新規採用を中止した。(岡山)
・新型コロナウイルスの影響による求人の取消（7 件)、大卒採用のため取り下げ（香川）
・地元のホテル関係での求人取消。(佐賀)

③進学への進路変更について

・就職試験で不内定を受け、専門学校進学に変更。(北海道)
・就職試験で落ちて大学進学へ変更。(群馬)
・就職試験で不合格だったため、専門学校に変更した。公務員試験に不合格だったため、専門学校（公務員コース）に変更した。(和歌山)
・公務員不調で進学へ進路変更。(兵庫)
・企業を諦めて進学へ 1 名。公務員試験を再度受けるために公務員試験の専門学校へ 3 名。(山口)
・公務員試験不合格による進学への進路変更。(山梨)

④就職への進路変更について

・コロナ禍による家庭環境の急変のため。(北海道)
・入学金のメドが立たなくなったため。(神奈川)
・進学を希望していたが、経済的に苦しく、就職に変える。(和歌山)
・自営業、コロナの影響で進学させられなくなったとの事。1 月から就活に。(兵庫)
・大学希望から自衛官へ（家庭事情のため）(山口)
・家庭の経済的な問題から変更。(愛媛)

⑤既卒者・在校生の雇用状況、早期離職について

・既卒者関連でサービス業（宴会業など）の休業、廃業（コロナ関連）があった。(青森)
・コロナの影響で残業手当が無かったり、一時金が減少したため、離職した生徒が数名いる。(岡山)
・アルバイトは勤務時間の大幅短縮あり。(宮城)
・未内定者はアルバイト先への就職希望者。コロナ感染症で（飲食業で感染者も発生したため）就職できなくなった。引き続きアルバイト継続。(山口)
・昨年度の離職率は約 30%、就職後 1～2 ヶ月での早期離職は約 5%程度である。(愛媛)
・昨年度就職者（84 人）の 1 年後、離職率 20%となった。人間関係、家庭の事情、健康を害した等(香川)

⑥「一人一社制」について

・複数応募は実施しないで欲しい。「一人一社制」の方が生徒も迷いがなくなる。(富山)
・「一人一社制」を改定することがミスマッチをなくすことにはつながらないと思います。逆に選べなくなる生徒、就職担当者の実務の増加など課題が大きい。(神奈川)
・複数応募を認める方向の動きがあるようだが、本当に高校生の利益となるようなルールの整備が必要である。(和歌山)
・来年度より大阪では「一人一社制」が廃止の流れ。進路保障の面から優秀な生徒は複数内定を貰い、もらえない生徒はいつまでも内定が決まらずといった二極化が心配される。(大阪)
・「一人一社制」、「早期離職率」「生徒と企業とのミスマッチ」等を幅広く議論する場が必要。(兵庫)

⑦オンラインによる就職活動

・県外企業のオンライン面接が行われたが、学校側に応対できる環境（カメラ付パソコン・Wi-Fi）がなく、大変であった。(企業見学、オープンキャンパスでも同様)(秋田)
・オンラインによる見学会の実施や面接が増加（学校の対応困難）(新潟)
・オンラインの応募前職場見学、Web 適性検査、面接への学校対応が課題。(岡山)
・オンラインによる会社説明が 7 ～ 8 件、面接試験が 5 ～ 6 件あった。教員がその準備をするための施設と時間の都合をつけるのに苦労した。今後、今年度以上に件数が増えたら対応しきれない。(和歌山)
・オンラインは心配したほど多くはなかった。厚労省のリーフレットのおかげか。(大阪)